

Port of Hachinohe

No. **15**
Jan 2005

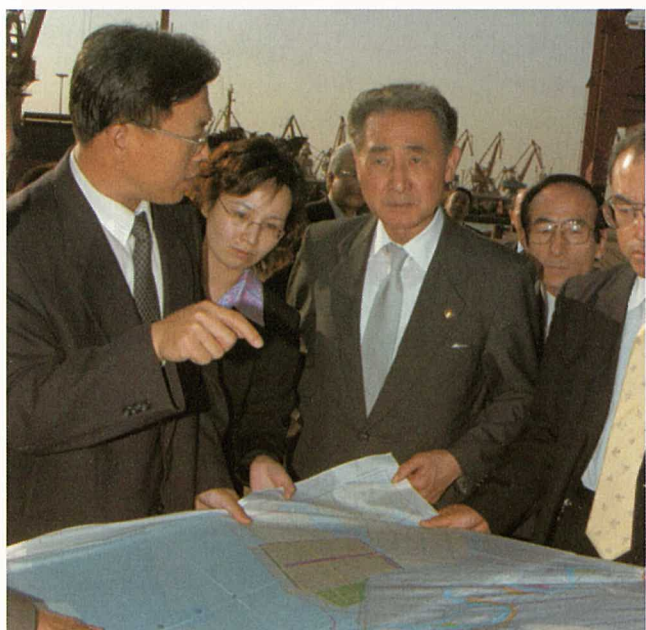
---Maritime & Trade Report---

- 八戸港中国・韓国コンテナ定期航路交流ミッション2004
- 八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2004
- 「八戸港セミナーin盛岡」開催のお知らせ
- 八戸市海外経済協力員レポート
- 中国交易会での果実試食会
- 青森県輸入住宅促進協議会ニュースレター

八戸港中国・韓国コンテナ定期航路 交流ミッション2004

八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：八戸市長 中村寿文）では、昨年10月10日から15日の6日間にわたり、中国（天津市・北京市）、韓国（ソウル市・釜山市）を訪問しました。八戸港の中国・韓国航路は、1998年にソウル市に本社のある南星海運株式会社により開設されて以来、順調に取扱量を伸ばしており、今回のミッションは、この航路を活用した貿易の促進を目的としたものです。

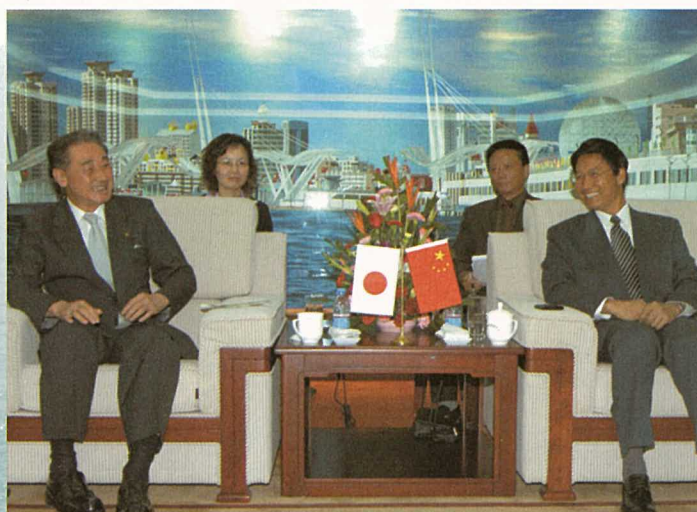
（関連記事2ページ）



天津新港の説明を受ける八戸市長



塘沽海河外灘公園



左：八戸市長 右：天津市塘沽区長

八戸港中国・韓国コンテナ定期航路交流ミッション2004



中国 (10月10日~13日)

11日は北京市で、ジェトロ北京センターや、デパート等を訪問し、現地の経済状況等について見聞を深めました。ジェトロ北京センターによると、日本でも話題となっている、中国におけるニセモノ・模倣品の問題はかなり深刻なようです。



八戸港セミナー in TIANJIN (天津)



情報交換会の様子



模倣品 (於: JETRO北京センター)

12日は、天津市塘沽区人民政府を訪問しました。天津市塘沽区は、一昨年、八戸市助役を団長とする「経済交流調査団」が訪問し、両地域の経済交流について協議を継続することを確認しています。今回のミッションでは、張区長他政府の皆様、「塘沽海外灘公園」をはじめ、区内スーパーマーケットや、水産養殖施設、八戸港にとって中国における最大の貿易相手港である「天津新港」を案内していただきました。

夕方からは、天津泰達国際酒店暨会館において、「八戸港セミナー in TIANJIN (天津)」を開催しました。政府関係者をはじめ、物流・貿易関係者らおよそ60名の参加のもと、八戸港の概要説明、地場産品及び八戸市の環境エネルギー産業への取組などをPRしました。その後の情報交換会では、活発な意見交換が行われ盛会裏に終了しました。

翌13日は、天津市人民政府を訪問し、天津市の現状等について伺った後、韓国へと移動しました。



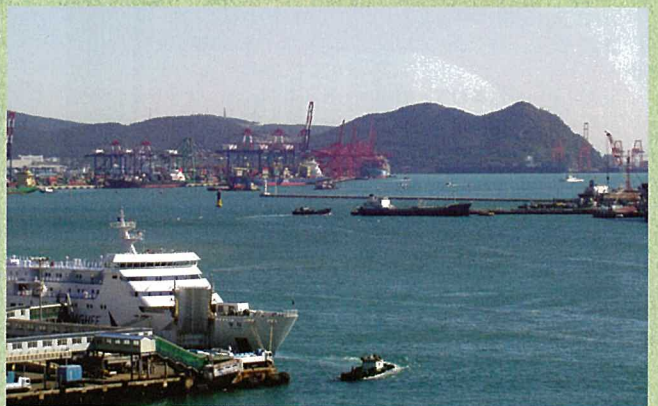
韓国 (10月13日~15日)

14日は、ジェトロソウルセンター、中国・韓国航路を運航する南星海運株式会社、南大門市場、北東アジアのハブ港として栄える釜山港を訪れました。最近の韓流ブームで日本人観光客も多い韓国ですが、その経済状況の一端を伺い知ることができました。

夕方からは、COEXインターコンチネンタルホテルにおいて「八戸港セミナー in SEOUL (ソウル)」を開催しました。貿易・物流関係者らおよそ30名が出席し、天津でのセミナー同様、盛会裏に終了しました。



八戸港セミナー in SEOUL (ソウル)



世界第5位(2003年実績)のコンテナ貿易港である釜山港

今回のミッションをきっかけに、青森県が掲げる「攻めの農林水産業」と連携した地場産品の輸出拡大、八戸市が積極的に取り組んでいる「環境エネルギー産業」に関連する新たなビジネスが展開され、相互の経済発展、さらには八戸港の利用拡大につながることが望まれます。

八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2004

八戸港国際物流拠点化推進協議会（会長：八戸市長 中村寿文）では、昨年11月23日から27日までの5日間にわたり、ミッション団を台湾に派遣しました。

協議会では、2002年から、リンゴ、ナガイモをはじめとする青森県産品の輸出拡大をテーマとして、台湾において、八戸港セミナー及び商談会等を行ってきました。こうした取り組みもあり、八戸港からのリンゴ輸出量が急増しています。

今回も、台北市、高雄市の関係機関の訪問、八戸港セミナーを通じて、八戸港及び青森県産品をPRするとともに、経済事情調査等を実施しました。

また、八戸港の今後の整備方向及び貿易振興の参考にするため世界のハブポート「高雄港」の視察を行いました。

高雄市（11月24日）

●「青森と日本のうまいもの・伝統工芸展」視察

高雄市の日系百貨店で開催されていた「青森と日本のうまいもの・伝統工芸展」を視察しました。

同展へは県内の13業者・団体が出展し、県産品を売り込んでいました。青森県から出展したリンゴはもちろんのこと、コンブやワカメ、しめサバなどの水産加工品や蜂蜜などが期間前半で完売しており、青森リンゴの「安全で安心、高品質」というブランドイメージがほかの県産品にも波及し始めたものと感じられます。



県産品等をPRする八戸市長



売れ行き好調の青森リンゴ

●高雄港務局訪問

世界第6位（2003年実績）のコンテナ貿易港である高雄港を管理する高雄港務局では、港湾利用者の視点に立った施策の展開を目標に掲げており、船会社との毎月1～2回のミーティングなど情報交換を緊密に行っていると伺いました。常に、世界のライバル港との比較を行い、高品質、低コスト、高効率のサービスが提供できるよう心掛けているとのことでした。



黄局長に記念品を贈呈する八戸市長



洋上視察する一行



視察に使用した船の前で

台北市（11月26日）

●青果物卸売市場視察

台北市内の青果物卸売市場では、卸業者が「台風被害の影響でリンゴの価格が上がっているのは問題ない。最需要期の旧正月商戦を控えもっと量が欲しい。」と話していました。

また、伝統市場（露店）や量販店で小玉の青森リンゴが見られるなど、これまでの贈答用だけでなく一般食用まで青森リンゴが普及していました。

一方で、長野産や山形産のリンゴも輸入されており、今後、台湾において日本産リンゴの産地間競争が激しくなりそうです。



セリの様子



伝統市場（露天）にて



卸売市場内の小売店

●東光船務代理股份有限公司訪問

PIIの台湾総代理店・東光船務代理股份有限公司では、張群釗社長へ週2便化による利便性の向上を要望しました。これに対し「当社も本社に便数の増加を希望している。電気機器や青果物などの取り扱いが増えつつある中で、顧客へのサービス向上は常に念頭に置いており、さらに強く働き掛けたい。」と力強いコメントをいただきました。

（4ページに続く）

八戸港東南アジアコンテナ定期航路交流ミッション2004

●八戸港セミナー

台北市の台北国賓大飯店において「八戸港セミナー」を開催しました。船会社、商社、荷主など50名の出席者に対し、青森県港湾空港課の山崎主幹より八戸港の概要やコンテナ定期航路の就航状況などについて説明がなされました。続いて、青森県物産協会台湾販売員の丘氏がリンゴやナガイモのほか、ニンニク、ゴボウ、ホタテなどの農水産品と県内観光名所をPRしました。

セミナー後の情報交換会では、リンゴやナガイモ以外に、水産加工品や地酒についても問い合わせがあり、青森県産品への関心は、ますます高まっているようです。

今後とも八戸港を利用した県産品の輸出拡大が期待されます。



熱心に聞き入る出席者



情報交換会の様子



あいさつする八戸市長



情報交換会の様子

八戸港セミナーin盛岡

日時：平成17年2月14日（月）15：00～18：30

場所：ホテルメトロポリタン盛岡（岩手県盛岡市盛岡駅前通1-44 TEL 019-625-1211）

内容：◆セミナー 4階「姫神」15：00～17：00

●あいさつ 八戸港国際物流拠点化推進協議会 会長 八戸市長 中村寿文

●八戸港の紹介

●講演「激変中国、そのチャンスとリスク」—正しい中国理解がチャイニーズドリーム実現への近道—

講師：日本景徳鎮株式会社 代表取締役 金丸 健二 氏

●質疑応答

◆情報交換会 4階「岩手」17：00～18：30

ご出席いただいた皆様との交流の場をご用意いたしております。立食形式（無料）となっておりますので、お気軽にご参加ください。

主催 八戸港国際物流拠点化推進協議会

後援 八戸市、日本貿易振興機構（ジェトロ）青森貿易情報センター

申し込み・お問い合わせ先

八戸市経済部産業政策課内

八戸港国際物流拠点化推進協議会事務局

TEL 0178-43-2111（内線308・609）

コンテナサポートサービス参加者募集

㈱八戸港貿易センターでは、貿易支援活動の一環として八戸港を利用した共同輸送事業（コンテナサポートサービス）を実施しております。これは小口貨物の輸出入を希望されるお客様に対し、㈱八戸港貿易センターがコンテナを手配し輸送するサービスです。

貨物の容量に応じて利用料金を計算いたしますので、輸送コストの削減につながります。

また、コンテナ船は八戸港に直接入ってきますのでリー

ドタイムも短く、北東北のお客様は陸上輸送費用を最小限に抑えることができます。

輸出入をお考えの際は、どうぞご利用ください。

シアトル、バンクーバーからの北米便、釜山からの韓国便の2航路を設定しております。スケジュール、費用など詳細につきましては、㈱八戸港貿易センター（TEL：0178-72-1505）へお問合せください。



釜山港のコンテナ貨物



荷受の様子

八戸港貿易センター施設利用ご案内

㈱八戸港貿易センターでは、各種会議・展示会・セミナー等にお使いいただけるよう、多目的ホール（ポータルホール）と大小会議室をご提供しています。音響設備・移动式ステージなどを無料で貸出するほか、駐車場も無料でご利用いただけます。

FAZメンバーズ・八戸港貿易センター株主には料金ご

優待制度があります。

どうぞお気軽にご利用ください。

■施設利用料金（金額は消費税込み）

◎多目的ホール

面積：350m²（100坪） 料金：6,090円／1時間

◎大会議室

面積：168.7m²（50坪） 料金：2,625円／1時間

◎小会議室

面積：67.5m²（20坪） 料金：1,050円／1時間

注：準備・片付けの時間は上記料金の7割となります。

※当社では小中学校等の社会科見学を受け入れております。ビデオや資料を用いた八戸港概要や貿易についての説明などを無料で行なっておりますので、ご利用ください。

詳しいお問い合わせは、㈱八戸港貿易センター
TEL 0178-72-1505 まで。
<http://www.hptc.co.jp>



社会科見学の様子

対中国輸出促進事業について <青森県農林水産物輸出促進協議会>

青森県農林水産物輸出促進協議会（事務局：青森県総合販売戦略課）では、今年度、青森県産品の輸出拡大のために、さまざまな対中国輸出促進事業を進めてまいりましたので、その内容や青森県産品に対する中国側の反応を紹介いたします。

(1)事業内容

- ・現地商談会
時期：9月14日～18日
場所：上海市
内容：商談会（青森側19団体、中国側39団体）
市場調査（市場、小売り、貿易業者、倉庫業者）
国際見本市調査（フード・ホテル・チャイナ2004）
- ・バイヤー招聘
時期：12月13日～17日
場所：青森市、弘前市、野辺地町
内容：商談会（上海バイヤー4名、青森側22社）
現地調査（りんご関係弘前市、ほたて関係野辺地町、市場関係青森市）



上海市内水産市場視察：大連産ほたて

(2)中国側の反応

商談会やバイヤー招聘を通じて中国側からは、以下の意見が出されており、今後の取り組みの参考にしたいと考えています。

- 「青森県の農林水産物の品質は非常に良いが、中国本土で販売するには価格が高い。」
- 「サンキストオレンジのようなブランド力は、青森りんごにはまだない。」
- 「世界一のりんご生産国でもある中国では、中国産や他の外国産りんごとの差別化が必要であり、先ず政府（県）と業界が一体となって上海で一般消費者に認知されるようなPR活動を行い、ブランド確立を進めるべきである。」
- 「水産物については、中国でも需要は増加しており、日本の方がむしろ安いものもある。」

(3)今後の対応

中国市場については、さらなる情報収集を進めつつ、「あわてず」、「あせらず」、「あきらめず」の中国と取引する3つの「あ」のキーワードを念頭において、今後も輸出促進活動を展開していくことにしています。皆様の積極的な取り組みを期待しています。

問合せ先：青森県総合販売戦略課
TEL 017-734-9607



上海バイヤーによる県内現場視察

Onでやあんせ八戸港！「海とみなとの写真コンテスト」開催される

昨年12月1日から20日まで、市庁本館1階市民ホール及びまちの駅にて「海とみなとの写真コンテスト」が開催されました。

この写真コンテストは八戸のみなとまちづくりを考える市民団体である「八戸みなとまちづくり市民フォーラム」が「WAVE港・海辺活動振興助成」を受けて実施する事業の一環として開催したものです。八戸のみなとや海辺の風景・行事を題材とした写真を募集したところ、150もの作品が寄せられました。

会場では投票箱が設けられ、写真をご覧いただいた市民の方が気に入った作品を投票しておりました。今後は最も多く票を集めた上位5作品について、絵はがきに採用し、広く八戸の海やみなとのPRをするために無料で配布するなど活用される予定です。

会場では市民の方が足を止めて写真に見入っている姿も見受けられ、「どの写真もきれいで選ぶのに迷ってしまう」、「この写真が絵はがきになるのが楽しみ」といった声が聞かれました。



写真コンテストの様子

八戸市海外経済協力員レポート

八戸市は、2005年1月現在、海外在住（香港、シンガポール、ワシントンD.C、タコマ、マニラ）の5名に「八戸市海外経済協力員」を委嘱し、協力員には現地の出来事や経済状況をレポートしていただいております。

また、八戸地域の企業等が協力員の在住都市を訪問する際には、協力員に現地事情の説明等をしていただけることになっておりますので、ご希望の方は八戸市経済部産業政策課（TEL0178-43-2111 内線308）までご連絡ください。

REPORT 1

香港レポート



ヤンマーエンジニアリング㈱
香港事務所 所長
原子 司さん

アマさん=国際化

一般的に日本人がアマさんと聞けば、尼さんを思い浮かべると思いますが、こちらでは、女中さんのことを言います。（英語でAMAH）

香港のアマさんは主にフィリピン、次にインドネシア、稀にタイ、ネパール人となります。年齢は18-50歳くらいと幅広く、しかし平均的には20-30歳くらいが主流のようです。そしてフィリピン人のアマだけで香港には約

20万人います。

アマさんはアマ紹介所を経由して雇うことができます。月額賃金は最低HK \$ 3,270（約¥50,000）2年契約で満期終了すると2週間の休みと、帰省用の航空券を雇用者が負担します。アマさんは同居のスタイルが一般的で家族の一員として生活をともにするわけですから、専用の部屋が必要です。しかし香港の住居は狭く、賃貸料が高いため専用の部屋を確保するのはなかなか大変で、普通は台所の脇に2畳くらいのスペースがあり、そこをアマ部屋としています。彼女らは既婚者も多く、出稼ぎに来ている間は故郷ではアマさんを雇ったりしています。毎週日曜日には香港の公園ではこのアマさんで溢れ返っています。グループでコーラスをしたり、ダンスをしたり、写真を見せ合い談笑したりと、微笑ましい光景です。

日本人駐在員の家庭では奥さんが専業主婦が多いので、それほどアマさんを必要としませんが、子供に手が掛かる家庭では雇っている家庭が多いようです。香港人の家庭はほとんどが共稼ぎですので、アマさんは一家に1名必需人となっています。

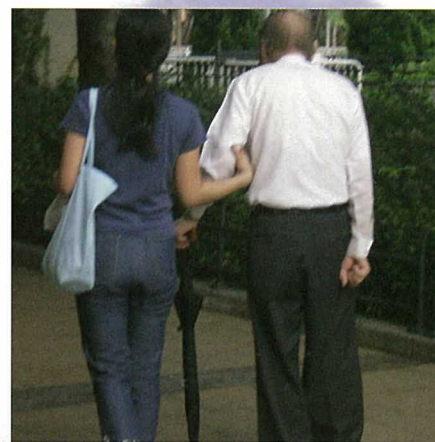
アマさんは家事全般を任せられ、またお年寄りの世話もします。朝、公園をアマさんに手を引かれながら散歩している光景を良く目にします。日本では外国人アマさんを雇うことはビザの問題、また言葉の問題、そ

の他いろいろな問題はあるでしょうけど、もしアマさんを雇うことができるようになれば、主婦は家庭から開放され、老人問題緩和、英語上達、毎日が国際交流となります。

現在でも日本国内には多くの外国人が滞在しており、都会ばかりでなく田舎でも多く見かけるようになったと聞きますが、違法滞在者に対しては厳しく対応することはもちろんですが、日本に滞在ができる許容範囲が広がり、様々な国からいろんな職種のひとが滞在できるようになれば日本も自然と国際化していくように思います。



子供の世話をするアマさん



アマさんに手を引かれ散歩するお年寄り

REPORT2

ワシントンレポート



世界銀行
上席都市環境専門官
慶長 寿彰さん

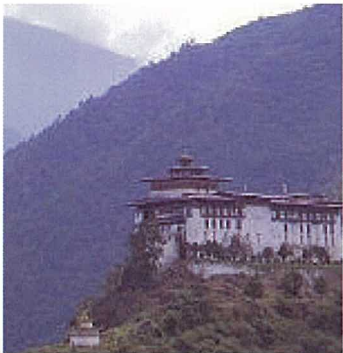
ブータンのソバ料理

故郷、八戸の皆さん、こんにちは。今回は出張で訪れたヒマラヤの秘境・ブータンという国について書こうと思います。というのは、ブータンと八戸の共通点を発見したからです。

中央ブータンのブムタンという街での朝食に、ソバ粉でつくったパンケーキが出てきました。このパンケーキに、やはりブムタン名物のハチミツをつけていただきましたが、なかなかの美味でした。標高が3,000メートルを越えるブムタンの辺りでは、寒冷な気候のために米がとれず、代わってソバが栽培されています。従って、ブムタン地方にはいろいろ伝統的なソバ料理があるという訳なのです。

これは、青森県の八戸地方とそっくりですよ。八戸も、夏に冷たい「やませ」という風が吹くため、米が不作になりがちで、そのためにいろいろ珍しい郷土料理があります。そのひとつが、「そばかけ」と呼ばれる料理です。説明するまでもなく、「そばかけ」は、ソバ粉をこねて薄く延ばして三角形や菱形に切り、薄塩の昆布ダシで湯がいたものにネギ味噌などで食べる、八戸独特のソバ料理なのです。

おそらく、ソバを主食のように食べるなんていうのは、日本人とブー



ブータンの地方行政庁



ブータンの溪谷

タン人くらいでしょう。ソバという食文化を巡る日本とブータンの国際交流なんかが始まれば、とても面白いと思いませんか。とりあえず、ブムタンと八戸で何か仕掛けようかと思案中です。この他にも、ワシントンや出張先の様々な情報は、以下のホームページをご覧ください。

<http://www.keicho.com/>

※現在、慶長寿彰さんは、昨年末のスマトラ沖地震による大津波で被害を受けた、スリランカとモルディブで、災害復興に取り組んでおられます。連日のニュースでも見られるように、現地は大変な被害のようで、慶長さんのホームページでも、その様子が掲載されております。一刻も早く、被災地が復興することを願うとともに、慶長さんのご健勝とご活躍を祈っております。

REPORT3

マニラレポート



加賀田 みどり さん 建設中のビル

あけましておめでとうございます。

フィリピンは花火や爆竹の音とともに2005年を迎えました。

今回は私たち日本人が生活しているマニラの近況を報告したいと思います。

首都圏メトロマニラは8つの市と9つの自治体で構成されています。その中のアヤラ財閥によって開発されたマカティ市は、ビジネスの中心地でホテルや高層マンションもたくさんあり、今もなお、新しいビルを建設中です。日本食材店やレストランも数多く、マニラ日本人会・フィリピン日本人商工会議所・診療所やライブラリーが入っているビルがあるのも、このマカティ市内です。

2003年6月にマカティ市は新禁煙条例で、密閉された公共の場所での喫煙を禁じていましたが、この2004年9月には屋外でもまわりに人がいる状態での喫煙は、規制法違反で身柄を拘束すると警告しています。旅

行・ビジネスなどでフィリピンに渡航する場合、喫煙の方はマニラでの新禁煙条例をご確認ください。

空港のカウンターなどやレストランなどで、そばに置いたかばんがなくなる事件があとをたちません。高級ホテルやレストランなどでも、自分の身から放さないようにお気をつけください。知り合いが前に座っていても、なくなることに気がつかない場合が多いので、ここでは膝の上がいちばん安全です。

フィリピンの玄関口、マニラ国際空港第一ターミナル内に日・韓・中の観光客のための通訳ブースが設けられました。入国審査付近には2つの通訳ブース、税関を出たフロアの出口近くにもう一つ設けられています。日本語・韓国語・中国語の通訳者がそれぞれ各国の民族衣装を着て、観光客の手助けをしてくれます。2005年1月には第2ターミナルとセブ州マクタン国際空港にも設けられる予定のようです。荷物紛失などの場合も快適な旅になるようにお手伝いをしてくれるようですので、安心してマニラ国際空港に到着していただけます。

私の住んでいるアラバン（マカティ市内から車で30分程）には、厚生省の熱帯医学研究所があります。新型肺炎SARS施設棟の陰圧装置を持つ隔離治療室は、気圧を少し下げることウィルスを含んだ空気を外部に逃がさない仕組みで、最新型実験研究室や治療にあたる人の安全を考えた特別ケア設備をもち、再流行に備えています。日本政府開発援助や世界保健機構などの支援を受けて設備ができたようです。

海外就労によってフィリピンに送金される額は約75億ドルで、その中で日本からの送金額は約10億ドルぐらいいわれていますから、海外就労者はフィリピンにとって経済をささえてくれる大切な存在です。米国が発表した世界各国の人身売買に関する報告では、フィリピンを人身売買の被害報告が深刻なレベルにあるとして、第二分類の監視対象国に指定しています。日本も、フィリピン人芸能人が接客や売春を強要されているとしてフィリピンと同じ第二分類の監視対象国になっています。日本側は、フィリピン人芸能人の入国制限方針を打ち出していますが、年間八万人のフィリピン芸能人の入国者が相当数減るといふ深刻な問題が予想されます。

日比経済連携協定の交渉でフィリピン人看護師・介護師就労問題が掲げられていますが、英国からは看護師の強い受け入れ希望があるなど、フィリピン政府側は、フィリピン人看護師は世界的に需要が高いとしています。また、米国や英国などの英語圏での海外就労は言葉の面からは就労しやすい場所であるかもしれません。日本語習得が必要な場合は日本の政府開発援助からの支援が提供されるようです。

2004年を振り返ってみますと、日本はたくさんの自然災害にみまわれ

心が痛みました。数多い台風が上陸し大勢の方が被害に遭われました。新潟中越地震の大きな被害と度重なる余震。被災された多くの方々の深刻な問題が一日も早く解決され、安心して生活できる環境が与えられることを祈っています。

アジアを襲った12月26日の朝のスマトラ沖地震でも、津波による大勢の死者が出ております。クリスマス休暇で、多くの外国人がリゾート地に出かける時期でした。タイ南部のプーケット島では、スマトラ沖の巨大地震発生情報は伝えられなかったといひます。感染症などの懸念される二次災害に対する支援が早急に行われ、これ以上の死者が出ないように、また自然災害の被害が人的な努力で少しでも小さくなるように、世界レベルで考え、被害に遭った国々の人が自立できる支援がなされることを望みます。

このフィリピンでも1年間にいろいろなことがありました。大統領選挙から始まり、フィリピン平和維持軍のイラクからの完全撤退（運転手として働いていたフィリピン人質救出のため）・大型フェリーの火災（爆弾テロ）・ガルシア元少将や国軍幹部の不正蓄財疑惑・11月末から相次いで襲った3度の台風と熱帯低気圧ウィニー・大統領選に出馬したポー氏が脳出血のため死去（12月14日）・フィリピン人芸能人の日本入国制限問題などです。クリスマスの時期はクリスマスパーティなど賑やかに行われるようですが、その費用を台風などによって被災した支援にまわそうと自粛するところが多く、ガソリンや電気代の値上げなどから、クリスマスの電飾も短時間で電気を消すような傾向がみられました。2005年は、この国から汚職がなくなり、雇用が確立され、貧困が解消されるような社会になってほしいと思います。

地球温暖化によって頻繁におこる自然災害に対して、私たち一人一人が気をつけられることはきっとあるはずで、半世紀以上も前に、アメリカのレイチェル・カーソンが書いた『サイレント・スプリング』は日本で『沈黙の春』と訳されて単行本で出ています。私たちが住んでいる地球に起こっていることが手に取るように解る本です。農業を営んでいる方、子育てをしている方、教師として子どもたちと接する方など、是非大人の皆様にご覧になってほしい1冊です。この年が皆様にとってよりよい年でありますように。



クリスマスイルミネーション

八戸港の貿易概況報告 (2004年1月～11月)

039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
日本貿易振興機構 (JETRO) 八戸情報デスク TEL:0178-72-1850 FAX:0178-72-1503

<概況>

輸出額では、フェロニッケル・有機化学品等の増加も見られたが、鉄鋼製品等の不調もあり前年度よりやや減少(前年比98.4%)。輸入額では、ニッケル鉱・石炭等の好調により増加傾向にある(前年比109.0%)。輸出主要国は、台湾・韓国・パナマ、輸入主要国は、アメリカ・中国・オーストラリア。また、コンテナ貨物通関本数は、東南アジア航路を中心に輸出、輸入ともに前年比107.5%と伸びている。

■平成16年1月～11月の貿易額 (単位：千円)

※資料：八戸税関支署発表の貿易統計から抜粋

輸 出

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
船 舶	NO	4	8,900,985	30.8%	77.3%
フェロニッケル	MT	100,234	26,652,740	110.8%	157.6%
有機化学品	KG	1,633,515	452,352	109.8%	48.8%
紙 製 品	MT	4,330	495,761	105.6%	110.5%
一般機械	MT	4,671	850,971	186.2%	73.1%
鉄鋼製品	MT	28,345	1,320,504	81.8%	89.9%
飼 料	MT	7,495	376,953	82.0%	78.4%
魚 介 類	MT	7,270	686,077	167.0%	161.0%
亜鉛塊	MT	0	0	全減	全減
電気機器			14,646,659		139.9%
その他			1,714,145		14.4%
合 計			56,097,147		98.4%

輸 入

品名	単位	今年累計		前年対比 累計%	
		数量	価格	数量	価格
ウッドチップ	MT	739,208	11,754,724	94.2%	96.5%
とうもろこし	MT	782,135	15,216,698	98.9%	121.1%
ニッケル鉱	MT	2,320,042	14,849,320	111.5%	156.6%
木 材	CM	84,614	2,258,969	72.1%	85.3%
亜鉛鉱	MT	151,182	4,837,903	110.4%	139.2%
大豆粕	MT	161,387	6,198,685	92.4%	121.3%
魚 介 類	MT	7,720	4,103,652	70.5%	85.7%
飼 料	MT	45,283	1,316,241	102.8%	107.9%
石 炭	MT	772,943	4,771,501	115.5%	159.9%
こうりゃん	MT	165,868	3,171,557	89.5%	100.9%
ウッドパルプ	MT	22,453	1,319,964	95.7%	103.8%
カオリン	MT	145,164	2,778,729	129.6%	126.0%
肥 料	MT	51,971	1,371,279	405.6%	506.8%
重油等	KL	18,158	589,224	29.5%	37.3%
コークス等	MT	91,028	2,011,652	83.8%	114.4%
鉛 鉱	MT	55,782	2,148,465	78.7%	128.2%
金属製品	MT	3,853	871,953	143.0%	131.3%
その他穀物	MT	18,550	328,809	89.8%	114.3%
糖 蜜	MT	4,777	32,660	86.5%	64.1%
一般機器	MT	1,976	955,953	70.1%	121.6%
その他			16,334,803		77.7%
合 計			97,222,741		109.0%

●コンテナ貨物通関額 ()内は前年対比

輸 出	301億2,684万 (85.5%)
輸 入	218億8,605万 (97.7%)

●コンテナ貨物通関本数 ()内は対前年比

輸 出	6,417TEU (107.5%)
輸 入	10,820TEU (107.5%)
合 計	17,237TEU (107.5%)

果実試食アンケート 結果(中国交易会)

日本貿易振興機構 (JETRO)
青森貿易情報センター
TEL 017-734-2575
FAX 017-773-2877
030-0822 青森市中央1-23-5 明治安田生命青森中央ビル7階

ジェトロでは04年10月に北京で開催された中国交易会開催中に日本農産品セミナー・果実試食会を開催しました。

結果は回答者の69%が日本産果実を食べたことがあり、その魅力として「安全・安心」とする向きが多くありました。日本産果実の購入目的は自家消費が贈答用を上回りました。

食べたことのある日本産果実はりんご38%、梨26%、かんきつ類17%の順となりました。

日本産果実の魅力については「安全・安心」36%、「おいしい」19%、外観がよい19%、「高級」13%、「価格が高い」9%の順でした。

「安全・安心」がトップとなった理由として、中国では高い残留農薬の影響や異物が混入したお酒を飲んで邦人が死亡するなどの事故が発生しており、こういう状況下で高所得者層の「安全・安心」に関する関心が高まっていることが指摘されています。

一方、「おいしい」、「外観がよい」、「高級」が「価格が高い」を上回ったが、中国の富裕層にとって価格はそれほど気にならないことを示しています。

<柿が高い評価>

試食を行ったみかん、りんご、ぶどう、梨、柿について5段

階で評価を聞いたところ、最大評価の「とてもおいしかった」と回答した比率は柿47%、梨45%、ぶどう35%、りんご21%、みかん10%の順でした。

柿についてはとてもおいしかったとおいしかったの上位2段階の合計が82%と、もっとも高い評価を得ており、味、食感(歯ざわり)、甘さが評価されています。

梨については上位2段階の合計評価比率は73%であり、みずみずしさと甘さが注目されています。

ぶどうについては上位2段階の合計は78%で、甘さ、食感(歯ざわり)、香りが評価されたほか、中国人の味覚に合うという意見もありました。みかんは上位2段階の合計は54%にとどまり、味について中国産とあまり差がないというコメントが見られました。

青森県の主要産品であるりんごについては、上位2段階の合計は81%と高かったものの、おいしいという2番目の評価が60%と高いことが特徴です。中国ではすでに日本産りんごが輸入されており、味について特別な驚きがなく予想の範囲内だったためと見られます。

一方、おいしくなかった、全くおいしくなかったという下位2段階の回答が他の果物では3～11%あるのに対し、りんごはゼロでした。



AIRA会員紹介

今回は南部木材株式会社様をご紹介します。

【沿革】

1916年10月に八戸市類家繩手下にカネヤス製材所として発足
1946年11月に南部木材(株)に組織変更
1965年八戸港沿いに第2工場新設とともに海外産原木を主とした製材に移行
1993年4月に完成した河原木工場は東北でも有数な大型製材工場です。
1996年からは、木材乾燥設備の稼働を始めました。

南部木材(株)では、製材所への原木卸、自社製造の木材製品及び輸入や国産材の卸販売を行っております。県南地域への住宅資材販売、設計、施工の業務に加え新築、リフォーム、エクステリア工事等、エンドユーザー様へのサービス機能の充実を進め、近年はOSB(オリエンテッド・ストランド・ボード)等、合板の輸入販売の拡大にも努めています。

今後も資材の安定供給と、ニーズの高度化や環境に配慮した商品への対応を目指してまいります。



南部木材株式会社

代表者名 代表取締役 工藤 義隆
設立 1946年11月
資本金 1億円
本社 〒031-0003 青森県八戸市吹上1丁目1-13
TEL 0178-45-4331・FAX 0178-45-4332
住資部 〒039-1161 青森県八戸市大字河原木字海岸18-5
TEL 0178-21-1411・FAX 0178-21-1412
担当者 工藤 潔
E-mail k-kudou@nanbumokuzai.co.jp
建設業許可番号・青森県知事(般-12)第14983号
取扱品目 海外からの原木及び木材製品、合板輸入
東北最大級の製材工場
建設資材(建材、住宅機器、サッシ)、国産木材
設計施工(営繕、リフォーム、新築)



AIRA会員募集

AIRAでは輸入住宅を取扱っている、または今後取扱を希望している、住宅・建材関連企業の方々を募集しています。AIRA会員には以下のような特典があります。

1. ジェトロ推薦講師によるセミナーへの参加。
2. 貿易センターの施設が優待料金にて使用できる。
3. 各種貿易相談を受けられる。
4. 輸入住宅および部材についての情報が受けられる。
5. 輸入住宅海外視察ミッション等への参加(自己負担あり)ができる。

ツーバイフォーセミナー開催

AIRAでは去る11月11日と12日、カナダ林産業審議会と「ツーバイフォー工法設計セミナー」を共催しました。

青森市文化会館を会場として二日間にわたったセミナーでは、北海道のウッズ建築設計事務所の所長 山口正氏を講師に迎え、青森県内の建設業者を中心に36名の方が参加、2×4概論、歴史、工法の特徴や施工図の作成までの内容を熱心に受講されました。

AIRA:青森県輸入住宅促進協議会 事務局

〒039-1162 青森県八戸市豊洲3-9 (株)八戸港貿易センター内
Tel: 0178-72-1505 Fax: 0178-72-1503
<http://www.aira.ne.jp>

カタログ・資料をご希望の方はAIRA事務局へ。送料とも無料でお送りします。

AIRA会員

会社名	連絡先住所	電話
丸喜株式会社齋藤組	青森市中央二丁目1-17	017-777-3329
株式会社ピアス	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター4階	0178-72-1513
株式会社黄金工務店	青森市造道二丁目10-17	017-741-8451
株式会社ファーストインターナショナル	八戸市廿三日町2 YSビル3階	0178-71-2282
南部木材株式会社	八戸市吹上一丁目1-13	0178-45-4331
株式会社トーリン	むつ市金谷一丁目14-23	0175-22-6333

Aomori Import Residence Association

<住所は全て青森県内です>

会社名	連絡先住所	電話
株式会社角弘	青森市新町2-5-1	017-723-2222
株式会社鎌田建設工業	青森市古館安田11-24	017-741-2063
グッドワークトレーディング有限公司	八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター2F	0178-72-1560
株式会社テーオー小笠原	青森市東造道三丁目6-3	017-736-2000
有限会社アメリカンスタンダードホーム	八戸市青葉三丁目2-25	0178-44-1011

Aomori Import Residence Association

コンテナ航路		船社名等	集荷代理店	寄港間隔	主な寄港地
外航	東南アジア航路	PIL	八戸通運	1便/週	[寄港地] 台湾(基隆、台中、高雄)、中国(香港)、シンガポール [接続地] 東南アジア全域、豪州、欧州、他
	中国・韓国航路	南星海運(株)	八戸港湾運送	2便/週	[寄港地] 韓国(釜山、光陽、蔚山)、中国(上海、青島) [接続地] 中国、欧州、北米、南米、豪州、他
	北米航路	WSL	八戸港湾運送	1便/月	[寄港地] アメリカ(シアトル)、カナダ(バンクーバー)
内航	内航フィーダー航路	(株)横浜コンテナライン	八戸通運	1便/週	[寄港地] 横浜 [接続地] 世界各地

PIL: Pacific International Lines (Singapore) WSL: Westwood Shipping Lines (U.S.A)

主な寄港地～八戸港の所要日数(最短)

寄港地	所要日数(日)	
	輸出	輸入
釜山(韓国)	2	4
光陽(韓国)	4	10
蔚山(韓国)	6	8
基隆(台湾)	5	6
高雄(台湾)	7	7
香港(中国)	8	9
大連(中国)	9	8
青島(中国)	5	8
上海(中国)	7	7
天津(中国)	9	8
寧波(中国)	8	8
蛇口(中国)	11	13
シンガポール	13	15
ジャカルタ(インドネシア)	17	22
バンコク(タイ)	17	20
レムチャパン(タイ)	17	17
マニラ(フィリピン)	20	21
ホーチミン(ベトナム)	20	20
ロングビーチ(米国西岸)	16	18
シアトル(米国西岸)	21	13
チャールストン(米国東岸)	30	23
ニューヨーク(米国東岸)	29	22
バンクーバー(カナダ)	23	13
ブリスベン(オーストラリア)	25	17
オークランド(ニュージーランド)	25	26
サウサンプトン(イギリス)	29	35
ルアーブル(フランス)	30	35
ブレーメルハーフェン(ドイツ)	32	35
ロッテルダム(オランダ)	33	30

Westwood Shipping Lines

船主代表 岩淵浩俊 氏

ウエストウッド社は、世界最大の社有林を有する森林資源会社であるウェアハウザー社の100%の子会社であります。

ウエストウッド社の起源は、ウェアハウザー社が1世紀以上にわたる水上輸送を始めた1892年にさかのぼりますが、その長い歴史のなかで、大きな変革の一つとして挙げられることは、1983年に、コンテナ及びブレイクバルク貨物の太平洋定期航路を開設したことが挙げられます。

1998年10月には、八戸と北米をダイレクトで結ぶ定期航路を開設致しました。

現在4万5千トンクラスのコンバルカー(コンテナ及びブレイクバルク積載可能船)7隻により西航は月1-2回の配船、東航はWeeklyで日本・韓国と北米を結んでいます。



海上コンテナ輸送の御用命は「八戸港国際物流拠点化推進協議会」加盟の各社へ

- 八戸通運株式会社(海運営業所) TEL:0178-29-0202 FAX:0178-20-3281
- 八戸港湾運送株式会社 TEL:0178-29-3177 FAX:0178-29-3119
- 新丸港運株式会社 TEL:0178-20-2321 FAX:0178-20-2353
- 八戸運輸倉庫株式会社 TEL:0178-28-2401 FAX:0178-28-6976
- 三八五流通株式会社 TEL:0178-52-7755 FAX:0178-52-7751
- 日本通運株式会社八戸支店 TEL:0178-27-3311 FAX:0178-27-5520
- ナラサキスタックス株式会社八戸支店 TEL:0178-20-1651 FAX:0178-20-2444
- 青森県・八戸市・八戸商工会議所・八戸港振興協会
- 株式会社青森銀行・株式会社みちのく銀行・八戸信用金庫



八戸港国際物流拠点化推進協議会 Hachinohe Port Promotion Commission

〒031-8686青森県八戸市内丸一丁目1-1 八戸市経済部産業政策課内
TEL:0178-43-2111(代表) e-mail: hppc@hi-net.ne.jp Homepage: www.hi-net.ne.jp/~hppc



(株)八戸港貿易センター Hachinohe Port Trade Center Co., Ltd.

〒039-1162青森県八戸市豊洲3-9 八戸港貿易センター3階
TEL:0178-72-1505 FAX:0178-72-1503 e-mail: mail@hptc.co.jp Homepage: www.hptc.co.jp